

---

# 一生届くことのない手紙

林辰子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

一生届くことのない手紙

### 【ZPDF】

Z0812BA

### 【作者名】

林辰子

### 【あらすじ】

T・Mへ。

私は君をずっと好きだ。

君は私が好きって知ってるのに、嫌ならそう言つてほしかった。私のせいだつて言つてほしかった。

優しいところが嫌いだ

でも、絶対に嫌いになることなんて出来ないよ

ずっとあなたが好きでした。

これからも多分、ずっと好きです。

E・Mより。

## プロローグとして手紙を書きます（前書き）

最高に痛い恋愛小説を書きたいと思って実行しました。

読んで痛い、書いていても痛い、嘲笑してしまうような話になりそうですね。

時々現実の話、時々手紙の内容つて形で書いていきたいと思います。

初心者故、ご容赦下さいませ^ ^ ;

## プロローグとして手紙を書くもよ

何で好きかつて聞かれたら、上手く答えることが出来ないけど

ごめん、ほんとごめん、好きになつて

始めて見たときは、別に何とも思わなかつた  
でも、今は君無じじゃ生きていけないんだ

好きなんです

知つてますか  
知つてますよね

ほんとうに  
好きなんだ

もつ君には、私の思いを伝えることが出来ないみたいだから

せめて

手紙を書かせてください

世界で一番大好きです

命をかけられるかといったら、はつきり言つてそこまではだめだ。

でも、君を超える人が現れることは無いでしょう

君は星だ

夜空に輝く北極星のよつこ、私の胸の中で輝きつづけるの

北極星は星よりも輝いてほかのどの星よりも遠くにあるんだよ

ね、まるで君のよつじやないか

私は君を自分以外の何かの中とでも大事に思つてる

でも君は??

これは、一生届くことのない手紙です

ただ、一生変わらないのは  
ずっと大好きだつてこと



## 過去の話（前書き）

非常にわかりにくいくらいと思います。  
勢い任せでかきました。

## 過去の話

過去の話をさせてください。

私は、T・Mが好きです。

8円まで、T・Mの顔を知りませんでした。

11月まで、T・Mの苗字を知りませんでした。

気になりだしたのは12月です。

はっきり記憶にはありませんが、T・Mを見てくるとなんだかドキドキしたんですね。

以下、Tとしましょ。

私は、それまでUという男が好きでした。

Sは同じクラスでした。

しかし、夏休み

Sは部活のため、一回も学校の夏季講座に来ませんでした。

Sに会うためだけに学校に来ていた私にとって、Uと会うひとのや

きない一ヶ月間は辛いものでした。

一ヶ月会えなかつたら、急激に好きだとこいつ気持ちが無くなりました。

こんなものかつて思いました。

Sは初恋の人でした。

ずっと好きだ

この気持ちがなくなることはないはずだった

永遠なんてないのか。

でも、私はSをまだ好きだということにしました。

好きじやないと認めたら、何か本当に大切なものを失う気がしたからです。

Sとは話したことが無いし、同じクラスだということ以外、共通点がありません。

出身校も知りません。

そのままずるずると12月になりました。

12月某日

日の前に、Tが現れました。

Tは、他クラスでしたが、同じ部活でした。  
バドミントン部でした。

長身で痩せた、地味な男でした。

目が小さく、一言で表すなら日本犬のよつたな顔をしていました。

Tは、部の男子の高校始めの中で一番強かつたため、女子のトップと戦わざれることになりました。

女子のトップとほぼ互角だった気がします。

その時の私はなにもかも空っぽで、Tのことによく見ていませんでした。

部の他の女子は、何かしら騒いでいたような気もしました。

部活が終わって、試合を記録するノートを見ました。

### Tとトップの試合

名前は書かれているが、点差と勝敗が書かれていない。

まあいいか

その時はその程度のものでした。

結局、もやもやしたままに年が明けました。

1月

私は、疲労骨折をしました。そのせいで、一年生大会に出られなくなりました。

ダブルス大会でした。

女子部員が1人しかいなかつたので、ちょうどよかつたのかも知れませんが。

女子は、すぐに全組負けました。

私は、自分の出る試合ではないからと、あまり眞面目に大会を見ていなかつたと思います。

Tは準々決勝まで勝ち残っていました。

Tは、中学時代には県大会で表彰されるような実力のAと組まれていました。

まあ、Aが強いから勝つているんだろう。

その程度にしか思いませんでしたが、自分の学校で残っているのがその二人だけだったので、応援に行きました。

私はTをあなどっていた。

Aが強いからじゃない。

Tも強いから勝ち残っているんだ。

Tの動きは、Aにも負けないようなもので、中学時代も競技を経験してきたことを想像させました。

小学生の、

足が速いから好き

といふのと対して変わらないと思います。

でも、それまで引きずられていたらはどこかへ消えました。

私の中には、感動と尊敬と憧れと、とにかくTに対する好意があふれました。

TとAペアは準々決勝を勝ちました。

準決勝、T以外は全員中学時代競技経験者でした。

一セット目

五点差をつけられ、相手側にセットを取りられました。

一セット目

十点差という厳しい状況、相手はすでにマッチポイント誰もが負けると思いました。

しかし、鮮やかにそれをひっくり返したのです。  
まるで映画のように!!

ついには、セットを取りかえしてしまいました。

会場が、学校が一つになりました。

ファイナルセット、競りに競つて、彼らは取りました。

歓喜に湧きました。

決勝まで進んだのです、未経験者が。

私には、すごいといひ」としかわかりませんでした。

決勝は、市長杯優勝のペアが相手でした。

AとTは健闘しました。

私たちも、必死で応援しました。

しかし結果は、

一セット目

2 1 1 7

二セット目

2 1 1 9

で二人は負けました。

私は本気でショックでした。しかし、感動は計り知れなかった。

興奮して、心臓の鼓動が早まつたから、それを勘違いしただけなの

かも知れない。

でも、私はその日丁を大好きになりました。

年明けに手紙を書いてはまやこでしようか。（前書き）

「私」が語りかける形です。現在の私。

重くて痛々しい女です。

年明けに手紙を書いてはまやこでしゃうか。

あけましておめでとう

去年の今頃なら出来なかつた、「あけおメール」出来て嬉しいです。

自分の電話帳に入つている人達にはだいたい送るんだけど、君のは特別なんだよ

……でも、嫌な思いさせたくないから、みんなにも同じのを送つているんだよみたいにしちゃつた

「あけましておめでとう」わざわざ

昨年度は眞さんのおかげで、大変密度の濃い一年とすることが出来ました。

今年もとてもなく良い一年となりますように  
今年度もよろしくお願いします  
ではでは

密度の濃い一年でした…

分かってるよね??

無かつたことになんてしないでほしい

お願い、忘れないでください。

君からの返信

来ないほうが良かつたな

来なかつたら来ないで、それはそれで傷つくんだけど  
来たら、もつと傷つくから

君は返してくれた

見るのにどれだけ勇気がいるか

君以外の全員のメールを全部見る

それから見ようって思っても見られない

……やつと見れた

「あけましとおめでと」

それだけ

はつかりいって、何が返つてくるかは分かつてないよ  
でも、無理してるんじゃないかな。

本当は嫌だとか、面倒だとか思つてるんじゃないかな。

最初は、私のこと少しばかり好きだったんでしょ? う?

「今年もよろしく」

つて入れてほしかったな

今年はもう、私と関わりたくないですか。

勝手に傷ついているのは私だけ、でも、こんなことをしたのは君な  
んだよ。

自覚無いよね

少しだけでいい

本当にちょっとだけでいいから

振り向いてください

あなたの優しいところが大好きです

……『めんね、好きになつて。

## 過去の話の続きを（前書き）

過去の話の続きです。

長いです。

あと、話しだ葉が統一されてないと想います^ ^ ;

といつわけで、私はTを好きになつたわけです。

確信は持てませんでしたが。

Tを見ると必ずキズキしてしまつて、  
すぐに田を違つといふく、Tが映らないといつへこつてしまつて  
す。

でも、またTを見ている

それがエンドレスに繰り返されるわけです。

どこかへ吹つ飛んでしまつたには無かつた感覚でした。

AとTが戻つてきました。私たち、同じ学校全員が一人の健闘を讃  
えました。

素晴らしいかった。本当にすばしかった。お疲れ様。

…かつこよかつた。

同じ部活の女子Rが、AとTに何か渡しました。

私が偶然、Tを見たときにRは渡したのです。

餡でした。

今までの私なら何も思わなかつたでしょう。

でもその時の私には堪えられなかつた。

どこからか分からないが、激しい憎悪が沸いて来る。

何、これは

何でこんなに腹がたつの

何でこんなに悲しいの

何でこんなに辛いの

始めて味わつた感情

ああ、これが嫉妬か。

Rは言いました。

Aくんがすごいのは知つてた。でもTくんはすごい。  
Tくんはもつとすごい。

AくんとTくんは頑張つたから餉あげたの。  
仲良くなりたい。メアド聞かなきや。

私は、なんとしてでもRを阻止しなければならぬ一息がしました。  
なぜかは分からぬ。

でも、RにTをやめへうこなら、私が欲しい  
そつはつをつ思つました。

しかし、Rの

AとTは頑張ったから

といふのは納得がいきませんでした。  
他の人達は頑張っていなかつたのか??入賞しなければ頑張つたうちに入らなかつたのか??

おそらく、私が疲労骨折をした原因の張本人  
そして、それを目の前で放置し、おおごとにさせた張本人がRだつたので、ここまで思つたのでしよう。

私は間違いなくRが嫌いでした。  
Tが好きだつたのも事実でしたが。

だからTを渡したくなかった、Rと馴れ合つてほしくなかつたのも  
あると想ひます。

勝手な意地を張りました。

次の日から、Tは部内のヒーローでした。  
周りの目が変わつた、といえば正しいでしよう。

すぐに元に戻るだらう、と思いました。

でも、Rはなかなか止まらない。  
私は密かに苛立っていました。

Rの口が、Tの名前を発音する形になると、激しく憎悪する憤怒する

勝手に一度も話したことのないTのイメージを作り上げ、Tを自分の物にしたいと思つていました。

渡さない、誰にも  
渡さしない

遂に、私は一人でこの思いを抱えきれなくなりました。

TとAが準優勝して進んだ上の大会を見に行つた帰り、告げました

唯一、部活の良心と言ふべきこと。

私、Tくんが好きなんだ。

乙は、驚きました。

そして、

私がRに対して抱いている不安、試合で活躍したから好きだつて思われたくない。活躍すれば誰でもいいわけではない。

思っていたことを乙に告げました。

乙は、私に笑いかけてくれました。

そうなんだ。

知らなかつたよ。

でもねー、Rはあれはすぐに黙るよ。一時の感情だから。

大丈夫だよ、あんたかわいいからーー！  
でもTくんかー。Tくんない、謎だよねー。

「なぜばゆい気持ちでした。

「は、協力すると書かれていました。

私は、とてもうれしかったです。

Tの話をできる他人がいる。

Tの事を考えるだけで、私は舞い上がってしまいます

Tの事を話したら  
どうなってしまうんだろう。

私は、Tにベタ惚れしていました。

余へてなことわせ、むづかねばっこですか。（前書き）

「」もでぐると重症ですね。  
鉛並に重い女。

余裕ないことがあれば、ぜひあればここですか。

年が明けても、会わないまま十日近く経ります。

元気ですか？？

メールは、きっと頻に嫌な思いをさせてしまつので、送りません。

ねえ、少しは我慢が出来るようになったでしょ、う？？

去年の私なら、きっとたくさんメールしてた

会えないことは、どうすれば空っぽな心が満たされるのでしょうか。

君は私の事を考えているのかな。

きっと、私と君の思いこみ、相当なギャップがある。

それはやつぱり当たり前で、怖いかりビビリつつも田を殴りしきしま  
う事なんだけど

私は、君の事ばっかり考えちやつよ

会えなければ会えないとほど

その時間が長いほど

辛くなってしまうの

君に会つても、満たされる」とはありえないんだけど

会えなかつたら

もつともつと

満たされることが絶対にありえない

私の人生の中で、君の存在は欠かすことが出来なくなってしまった

んだよ

あーあ

こんなことなら

出会わなきゃ良かったのかなー

違つ学校を選んでれば良かったのかなー

違つ部活を選んでいれば良かったのかなー

でも、君に出会わなかつた人生なんて

死んでもいい

知つてると悪いなじ言わせて、

愛じてるよ

誰よりも、ずっと

会いたいです。

あと、答えて欲しいです

……せっかくですか？

未練がましい女はダメですか。（前書き）

タイトル通り^ ^ ;

私自身は、未練がましい女はダメだと思います

未練がましい女はダメですか。

8月20日

私は君から来たメールを全て消した

私が送ったメールも全て消した

君のメールアドレス

.....

手が画面の前で止まった

.....

実際、君から来たメールを消すことは、  
容易いことじやなかつたんだよ

新しいメールから古いメールを選択していくほど

辛かつた。

やつぱり君は優しいよ

君のメールアドレスを消すことなんて絶対に出来ない

8月20日

忘れもしない

君は忘れた??

そんなの承知しないから

それに、私は嘘をついた

君からのメールは消していない

データフォルダの中に…  
記録してしまっていたよ

でも、それを見ることなんてない  
今後一切

だから、私の中では消したに等しい

こんな言い訳かなあ

あの時は

人生で一番楽しかった

8月20日

あの瞬間が

ずっと続いてたらよかったですのに

あの日君は  
私しか見てなかつた



素直になつたらダメですか。（前書き）

この女は、どうもでこつたら『仮』が済むのでしょうか。

素直になつたらダメですか。

すゞく嬉しかつた！！

やつひーー。

やつひだよーー！

年が明けてから、

やつと君に会えたーー！

ホントに嬉しかつた

…けど、ちょっとだけ悲しかった。

学校の校門の前で細い路地から出てきた君とばつたり会つたとき

私はドキドキした

すぐに口をあらじてしまった。

君の方が、下を向くのは早かった。

何だか、その場にいるのが堪えられなくて、

雪道を走つて来てしまった。

君は、めちゃめちゃにゅうへつした速度で歩きはじめた。

君と同じクラスのサッカー部の人が、私の目の前で、君に挨拶したとき

すいへまことに思った。

…でも、何とか先に学校に着けた。

君に初めて避けられた日のことは、今でも鮮明に覚えてる。

私は深く傷ついた。

私は、今日避けてしまった。

私のことが大嫌いな君は、傷つくことなんて無いんだと思つ。

でも、

傷ついたのかな??

本当はおはよおはよ言いたいんだよ

友達みたいに話したいんだよ

でも、

どうせやうやうされは無理みたいだから

自分の思いを素直に伝えるなんてことは、  
もう一度としない。

今日、君と会つことができずじく嬉しかった。

でも、すこく悲しかった。

勝手に傷ついてしまんなさい。

また明日も会えるかな

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0812ba/>

---

一生届くことのない手紙

2012年1月5日20時49分発行